

## 新年に当たり

### 謹んでごあいさつ申し上げます

今年の干支「寅」は十二支の3番目に当たり、元々植物の循環を表す中国の暦では、子年に芽生えた新しい命が成長する・伸び始める年とされています。県民の皆様にとって新たな一歩や前進がある輝かしい一年になることを心から願っております。

さて、新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてから、約2年となりました。この間、県民の皆様と一致団結してこの感染症に立ち向かってきたところであります。引き続き、県民の暮らしと健康を守るため、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めるなど、必要な対策に万全を期すとともに、大きな打撃を受け続けている地域経済の一日も早い回復を図って参ります。

栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」は2年目を迎えますが、ポストコロナを見据え、「新たな日常」の視点を取り入れた取組も含め、各種プロジェクトを積極的に展開して参ります。

具体的には、地方への関心の高まりを好機ととらえ、移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大に取り組み、本県へのひとの流れを着実なものにするとともに、経済発展と地域課題の解決を図ることができる社会(Society 5.0)の実現に向け、デジタル技術の更なる活用や人材の育成に取り組んで参ります。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、オール栃木体制による脱炭素化を進めるとともに、本県の地域特性に即した気候変動への適応策を推進して参ります。

今年はいよいよ「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」開催の年です。今月下旬には国体の冬季大会、10月には国体の本大会、全国障害者スポーツ大会であるとちぎ大会と続きますので、市町や競技団体・関係機関と連携を図りながら、大会のスローガンである「夢を感動へ。感動を未来へ。」のとおり、県民が夢と希望を抱き、多くの方々の心に残る大会となるよう準備に万全を期して参ります。

こうした取組により、本県の将来像である「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気なとちぎ」の実現に向け全力で取り組んで参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

令和4年1月

栃木県知事 福田 富一